

御所浦町の住

民検診終わる

熊大の第二次

水俣病研究班

水俣病の潜在患者発掘を目ざす
熊大第二次水俣病研究班（班長・

武内熊大医学部第二病理教授）の
天草郡御所浦町の住民検診は、さ
る二十一日から同町嵐口地区を対
象に行なわれていたが、三十日夕
方終わった。

今度の検診は、同地区五百七世
帯の千九百七十八人全員が対象
で、熊大公衆衛生、小児科、神経
精神科などから二十七人のスタッ
フが一般内科のほか、尿、血液検
査、痛覚、知覚、握力検査など綿
密な調査を行なった。悉皆（じつ
かい）調査すべてを調査するこ
とという建て前から、受診に來
ない人については訪問して検診を
すすめたため百軒近い住民が検診
を受けたという。

同地区はさる三十五年、県衛生
研究所が実施した毛髪の水銀量調
査で、要注意とされた五〇PPM
以上が一八・五軒も見つかってお
り、今度の検診結果が注目され
る。